

Ming—その後の動き

1年越しのふんどしパンツ商品化を目指す

CWB 岩崎安奈（インド駐在）

昨年11月。マンガロール地区にあるカディ衣服のパートナー団体に、布のプロフェッショナル三宅恭子さんと約2週間滞在して「端切れを使ったものづくり教室」を行いました。レッスンでは、希望者の多かったバッグ類を中心に扱ったのですが、実はその裏で、端切れを使った商品開発にも色々チャレンジしていました。風を通すカディのマスクと巾着ポーチ。リュックとしても使える鉢カバー。そして、カディのふんどしパンツ。

あらゆる締め付けが嫌いな私は、かねてよりブラトップ&ふんどしパンツというサボリ下着(?)愛用者です。だから自分で作ろうと思いついたのか、同室の三宅さんが「何、それ、カッコいい!」と言ってくださったのがきっかけだったか、もはや定かではありませんが、手紡ぎ・手織りのインド綿でふんどしパンツなんて素敵じゃないか! いいじゃん、作ろうよ! 商品化しようよ! と三宅さんと盛り上がったのは鮮明に思い出されます。それに下着なら、端切れで作ることで柄が必ずしも選べない、というデメリットもあまり気にならないので「端切れを捨てずに活かすものづくり」のアイデアとしても最適と考えたのでした。

しかしながらこの時は、社内で使っている人もおらず、あまり反応が良くなく、まあありがたくミシンの練習も兼ねて自分用のふんどしパンツを数枚作り、持ち帰るに終わっていました。自分の立場もただの新米

ふんどしパンツは何が良いのか

そけい部やウエストへのゴムによる締め付けがないことで、血液の巡りが良くなり、様々な美容・健康効果があると言われてます。

- ・生理痛や生理不順の改善
- ・むくみの改善
- ・冷え性改善
- ・下着によるかぶれや黒ずみ改善
- ・便秘の改善
- ・不眠改善
- ・イライラ改善
- ・リラックス効果



インターンだったので、それ以上主張することもありませんでした。

しかし、最近急速にアジア10グループ内で巻き起こっているMingムーブメントに乗り、今こそふんどしパンツ企画を復活させる時、と画策しています。Mingの解釈には様々な角度があると考えていますが、一つには「地域の仕事づくりに繋がれば、誰が何したっていい」ということです。

これはMingだ!と誰かが思ったら。誰かが良いと思ったら、もうMingなのだ! そう、ふんどしという、侍も穿いていた日本の伝統下着と、カディというインドの独立を象徴する伝統布との出会い。これはMingです! ぜひ日本×インドのMingふんどしパンツを多くの人にお試しいただくべく、カタチにしていきます。